

2020 年度みんなで決めよう「原発」国民投票拡大運営委員会議事録

- ・日時： 2020 年 10 月 4 日（日） 13:20 ～ 14:00
- ・場所： てくのかわさき展示場（神奈川・川崎市） + Zoom によるオンライン配信
- ・会員出席者： 鹿野／稲田／鳥海（神奈川）、石崎／中村（東京）、大音／井奥／山崎／本村（関西）
- ・一般参加者： 高橋（神奈川）
- ・進行・書記： 稲田

1. 議事／報告

(1) 2019 年度活動報告 山崎（関西）

2019 年度の活動として、①市民グループ「いばらき原発県民投票の会」が主導する「東海第二発電所の再稼働の賛否を問う県民投票条例」の直接請求運動への支援、総会イベント（会場開催）と 2 回のオンラインイベントの開催、③地方でのイベント開催と情報共有、④会報「ミント(MINT)」第 13 号の刊行・発送等が報告された。

(2) 2019 年度会計報告 中村（東京）

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響でリアルでの活動ができなため、活動費が予算より少なくなっていること、昨年から経費削減に努めているが諸事情による解約の遅れから予算超過があること、改めて会費納入のお願いを進めること等について説明があった。

(3) 2019 年度監査報告 鹿野（東京）

監査については、会計年度が昨年度から 2 年単位となったことから、来年度に監査が行われることが確認された。

2. 議事／審議

(1) 2020 年度活動方針 鹿野（東京）賛成多数で可決

2019 年度の活動を踏襲するが、次の 3 点に力点を置いて進めることが承認された。①現在直接請求を企画検討中の鳥取県境港市、米子市の直接請求運動の支援、住民投票の直接請求に関する過去の経験・知識を文書にまとめ、他団体の支援時に役立てられるようにする、②総選挙があった場合には、立候補予定者に公開質問状を送付し、「原発」国民投票実施についての是非を問う、③世論を盛り上げる周知活動の中で、福島第一原発の事故および当会設立から 10 年を迎えるにあたり、それに相応しい活動を行う。

(2) 2020 年度予算 鹿野（東京）

昨年から会計年度が 2 年毎になったため、今年度は 1 年経過後の予算執行状況を確認した。

- ・質疑応答では「しばらくの間オンラインを中心に活動することになるが、1 時間くらいのイベントを定期的実施してはどうか」との提案があり、全体の賛同を得た。

以上

※ 2019 年～2020 年度 2020 年度決算報告については、裏面をご参照ください。

2019 年度活動報告、2020 年度活動方針案は、ホームページに掲載しています。